

米奥小だより

令和8年5月27日(水)

No.7

米奥小学校 校長 北添 忠

〇こいのぼりの撤去作業

約1か月間、丸太ごいを四万十川に浮かべ、不織布こいのぼりなどを四万十川の上に設置して、地域の方々にも、観光客らにも見てもらいました。今年は天候の急変が何度かあり、大雨による増水で丸太ごいの一部が流され、下流に捜索に行ったり、不織布こいのぼりを支えていた竹の支柱が強風で一気に折れ、一旦不織布こいのぼりを撤去し、数日後に再度設置するなど、荒天による影響を強く受けた年となりました。

5月16日(土)、役目を終えたこいのぼりの撤去作業を行いました。学校運営協議会の方々や保護者・教職員らが手分けして作業にあたりました。設置には半日かかったこいのぼりですが、撤去は1時間半程度で終了し、保護者らは、参観日のひとつとして行っていた救急法講習に途中から参加することができました。



〇今年度2回目の参観日

5月16日(土)は、今年度2回目の参観日でした。8時30分からこいのぼりの撤去作業をし、そのまま体育館で行われていた救急法の講習に参加してくれた保護者もいました。救急法は四万十清流消防署から消防隊員に来ていただき、説明と訓練の指導をしていただきました。訓練用の人形を使った心臓マッサ





ージは力が必要で、低学年の児童には大変そうでしたが、教えられた手の重ね方などをみんなで確認し、楽しみながら緊急時の対応の順番などを実践していました。

大切な事は子どもだけで助けようせず、「支援してくれる大人に助けを求める」こと。水の事故は起きないことが一番ですが、もし起きた場合には1秒でも早く応急処置をはじめることが求められます。心肺蘇生やAEDの活用ができ

る人がまわりにいることで、命を守ることにつながります。6月からは米奥小学校でも水泳の授業が始まります。安全を最優先



にしながら子どもたちの泳ぐ力をつけるために、今回の救急法を活かしていきたいと思っています。

救急法の講習に引き続き、参観授業が行われました。すべての児童の保護者が来校し、

子どもたちの頑張りを見てくれました。

○修学旅行に行ってきます

明日（5月28日）から、6年生が修学旅行に行ってきます。近隣の小学校4校（米奥、七里、影野、仁井田）が連合小学校としていっしょに学習します。広島では宮島と平和公園そして野球観戦、岡山では吉備古墳群と造船所、香川ではレオマワールドに行きます。社会科見学や平和学習、そして仲間づくりと盛りだくさんな内容です。

6年生がいない間、5年生担当として町教育研究所から西澤先生が来てくれます。5年生は多くの時間、影野小の5年生とリモートで授業をする予定です。